

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三交イン京都八条口新築工事	階数	地上10F
建設地	京都府京都市南区東九条上殿田町 48 番の一部	構造	S造
用途地域	商業地域, 防火地域, 準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2018年4月12日
敷地面積	510.85 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社流通一級建築事務所 杉崎文昭
建築面積	398.98 m ²	確認日	2018年4月13日
延床面積	3,426.81 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社流通一級建築事務所 杉崎文昭



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 79% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 78% (46 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 78% (46 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	太陽光発電を利用し環境への配慮を実施したホテルとした。	その他 特になし
Q1 室内環境	内装の仕上げにはF☆☆☆☆を採用し、化学物質の発生に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 京都市景観条例に基づいた配慮がされている。
LR1 エネルギー	太陽光発電の採用。	LR3 敷地外環境 光害の抑制に努めた。
Q2 サービス性能	内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。	
LR2 資源・マテリアル	地域産木材を使用した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される